

お知らせ目次

行事等予定.....52頁

総合

第189回 春季講演大会日本鉄鋼協会・日本金属学会合同懇親会のお知らせ54頁

「ISIJ International」2026年3月特集号「Metallurgy and Mechanics of Plasticity-Induced Damage Evolution and Fracture (塑性誘起損傷・破壊の金属学と力学)」原稿募集のご案内 (投稿期限：2025年8月31日).....55頁

「ISIJ International」2026年11月特集号「Innovative evaluation techniques for hydrogen entry and hydrogen trapping (水素侵入と水素捕捉に関する革新的評価技術)」原稿募集のご案内 (投稿期限：2026年4月30日).....55頁

2025年日本鉄鋼協会「鉄と鋼」発行予定.....56頁

イベント情報

鉄の技術と歴史研究フォーラム 第44回フォーラム講演会

幕末・明治期の鉄研究会 第4回講演会「わが国の近代化初期における鉄社会の構造変化」開催案内.....57頁

ブックレビュー.....58頁

次号目次案内.....59頁

会員欄 (入会者・死亡退会者一覧)59頁

行事等予定

太字は本会主催の行事。
行事等の詳細は、本会Webサイト、イベントカレンダーリンク先URLをご参照ください。
他団体主催の行事は中止や延期になっていることもありますので、主催者等にご確認願います。

	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2025年1月			
10日	第114回レアメタル研究会(東京 12号843頁)	東京大学生産技術研究所 岡部 徹	岡部研究室 宮 智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
14日	第6回MSJ講習会「モータ駆動システムの磁気工学」《オンライン開催》	日本磁気学会	事務局 杉村比登美 Tel. 03-5281-0106 msj@bj.wakwak.com
14～16日	International Symposium on Green Transformation Initiative and Innovative Zero-Carbon Energy Systems (GXI-ZES) (東京)	東京工業大学 科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所および Tokyo Tech GXI	国際会議GXI-ZES事務局 Tel. 03-5734-3284 gxi-zes@zc.iir.titech.ac.jp
配信開始日 17日	2024年度On-Demand講座「塑性加工の理解に役立つトライボロジーと表面改質技術」第1回トライボロジーの基礎(オンデマンド配信)(2月28日まで)	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
21, 22日	第32回超音波による非破壊評価シンポジウム(東京)	日本非破壊検査協会	学術課 別府 Tel. 03-5609-4015 beppu@jsndi.or.jp
22日	創形創質工学会 数値モデリングフォーラム 2024年度 第2回研究会 日本塑性加工学会 プロセッシング計算力学分科会 第79回セミナー「塑性加工における異方性とその計測」(オンライン開催 1月17日締切)	日本鉄鋼協会	名古屋大学 湯川伸樹 yukawa@nagoya-u.jp
23日	R6年度 学術討論会・技術交流フォーラム合同講演会《オンライン開催》	日本鉄鋼協会・日本金属学会 東海支部	事務局 Tel. 052-789-3372 tokai@numse.nagoya-u.ac.jp
23日	腐食防食部門委員会第358回例会「インヒビター技術の最前線」(大阪)	日本材料学会	田村仁美 Tel. 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp
23, 24日	北海道支部合同冬季講演大会	日本鉄鋼協会・日本金属学会 北海道支部	事務局 久保恭子 Tel. 0143-22-9226 yasuko_kubo@jsw.co.jp
23, 24日	第188回塑性加工学講座(東京およびオンライン開催)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
24日	第18回 日本電磁波エネルギー応用学会研究会「先端技術とその実用化へのヒント」《オンライン開催》	日本電磁波エネルギー応用学会	事務局 佐藤容子 Tel. 03-3414-4554 office@jemea.org
配信開始日 24日	2024年度On-Demand講座「塑性加工の理解に役立つトライボロジーと表面改質技術」第2回表面改質技術の基礎(オンデマンド配信)(2月28日まで)	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
24日	第61回X線材料強度に関する討論会(群馬)	日本材料学会	田村仁美 Tel. 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp
25日	鉄の技術と歴史研究フォーラム 第44回フォーラム講演会 幕末・明治期の鉄研究会 第4回講演会「わが国の近代化初期における鉄社会の構造変化」(東京 本号57頁 申込締切1月15日)	日本鉄鋼協会	古主泰子 dzs03530@nifty.com

	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
25日	第30回高専シンポジウム(岡山)	高専シンポジウム協議会	事務局 Tel. 050-1737-1040 jimui@kosen-sympo.org
29日	第73回 材質制御研究会 金属材料の高機能化を目指して～耐水素脆性～(広島)	日本鉄鋼協会・ 日本金属学会 中国四国支部	広島工業大学 日野 実 Tel. 082-921-4454 hino@me.it-hiroshima.ac.jp
29, 30日	「異材・肉盛溶接とクラッド鋼の溶接」書籍発刊記念セミナー(東京およびオンライン開催)	日本溶接協会 特殊材料溶接 研究委員会	業務部 染谷直登 Tel. 03-5823-6324 naoto_someya@jwes.or.jp
29～31日	InterAqua 2025第16回水ソリューション総合展(東京)	(株)JTBコミュニケーションデザイン	interaqua@jtbcom.co.jp
30, 31日	第53回ガスタービンセミナー「カーボンニュートラル社会に向けたガスタービンの取り組みと最新技術動向」(東京およびオンライン開催)	日本ガスタービン学会	事務局 Tel. 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.or.jp
31日	日本塑性加工学会・自動車技術会連携企画(第99回塑性加工技術フォーラム)(東京)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
配信開始日 31日	2024年度On-Demand講座「塑性加工の理解に役立つトライボロジーと表面改質技術」第3回トライボロジー・表面改質技術の事例紹介(オンデマンド配信)(2月28日まで)	日本塑性加工学会関西支部	事務局 Tel. 090-9280-0383 kansai@jstp.or.jp
2025年2月			
5日	第360回塑性加工シンポジウム(兵庫)	日本塑性加工学会 (実行:関西支部)	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
6日	第200回腐食防食シンポジウム(東京)	腐食防食学会	山本奈々絵 Tel. 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
15日	第57回 若手フォーラム ポスターセッション併催(岡山)	日本鉄鋼協会・ 日本金属学会 中国四国支部	岡山大学工学部 竹元嘉利 Tel. 086-251-8027 tanutake@okayama-u.ac.jp
27, 28日	第189回塑性加工学講座《オンライン開催》	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
27日 ～3月1日	第16回日本複合材料会議(JCCM-16)(東京)	日本複合材料学会, 日本材料学会	日本複合材料学会 事務局 水野 Tel. 03-5981-6011 jscm@asas-mail.jp
28日	2024年度高校・高専生対象授業等への補助事業の募集締切(4号241頁)	日本鉄鋼協会	育成グループ educact@isij.or.jp
2025年3月			
4日	軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—中級編(時効析出)」(第13回)(東京)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm-general@jilm.or.jp
8日	第189回 春季講演大会日本鉄鋼協会・日本金属学会合同懇親会(東京本号54頁)	日本鉄鋼協会	総務グループ Tel. 03-3669-5931 admion@isij.or.jp
8～10日	第189回春季講演大会(東京 11号764頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 academic@isij.or.jp
11日	第134回シンポジウム「アルミニウムの水素脆化・応力腐食割れの最前線」(東京)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm-general@jilm.or.jp
12～14日	2024年度量子ビームサイエンスフェスタ(茨城)	高エネルギー 加速器研究機 構 物質構造科 学研究所, 他	量子ビームサイエンスフェスタ事務局 Tel. 029-287-9612 qbsf2024-office@ml.post.kek.jp
12日	軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織—応用編(加工・熱処理による組織変化)」(第11回)(東京)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm-general@jilm.or.jp
17日	第28回 電磁気応用部門・磁粉・浸透・目視部門・漏れ試験部門 合同シンポジウム(東京)	日本非破壊検査協会	事務局 学術課高嶋 Tel. 03-5609-4015 takashima@jsndi.or.jp
17日	2024年掲載論文対象の論文賞候補論文の自薦締切(11号768頁)	日本鉄鋼協会	編集グループ Tel.03-3669-5933 editol@isij.or.jp
17, 18日	第31回海洋工学シンポジウム(東京およびオンライン開催)	日本船舶海洋 工学会・日本海 洋工学会共催	実行委員会 Tel. 03-3405-6831 s.inokuchi@k8.dion.ne.jp
18日	第50回「組織検査用試料の作り方(組織の現出)」講習会(東京)	材料技術教育 研究会	MS講習会事務局 Tel. 047-431-7451 jumukyoku@mshokushukai.jp
21日	第115回レアメタル研究会(東京およびオンライン開催)	東京大学生産技術 研究所 岡部 徹	岡部研究室 宮寄智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
31日	「鉄と鋼」第111巻2025年10月発刊特集号「CO ₂ 排出量の削減を目指した鉄鋼CCU技術」原稿募集締切(7号484頁)	日本鉄鋼協会	北海道大学 坪内直人 Tel. 011-706-6850 tsubon@eng.hokudai.ac.jp
2025年5月			
14日	2025年度塑性加工春季講演会(兵庫)	日本塑性加工学会	瀧辺淳子 Tel. 03-3435-8301 fuchibe@jstp.or.jp
14～17日	第62回日本伝熱シンポジウムおよびHTSJ 国際伝熱シンポジウム(沖縄)	日本伝熱学会	シンポジウム実行委員会事務局 symp2025@htsj-conf.org

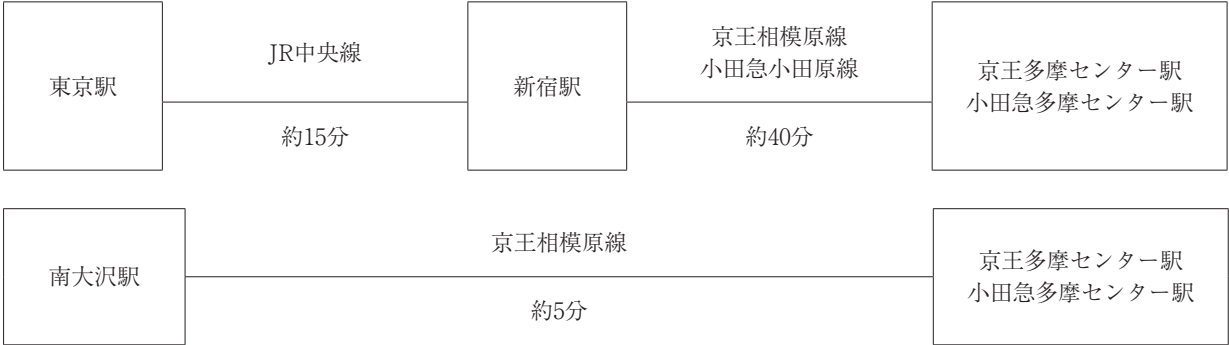
	行事(開催地／詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
31日	「ISIJ International」2025年12月発刊特集号「Cutting-edge Carbon Utilization Technologies and Processes toward Carbon Neutral Industries(産業のカーボンニュートラル化に向けた炭素利用技術とプロセスの最前線)」原稿募集締切(7号485頁)	日本鉄鋼協会	鈴鹿高専 小西宏和 Tel.059-368-1846 konishi-h@mse.suzuka-ct.ac.jp 東北大学 埜上 洋 Tel.022-217-5156 nogami@tohoku.ac.jp
2025年6月			
1日	「鉄と鋼」第111巻2025年12月発刊特集号「摩擦接合を含む革新的な固相接合技術」原稿募集締切(9号629頁)	日本鉄鋼協会	大阪大学接合科学研究所 藤井英俊 Tel. 06-6879-8643 fujii.hidetoshi.jwri@osaka-u.ac.jp
28～30日	International Symposium on Scheduling 2025(東京)	スケジューリング学会	名古屋大学 柳浦陸憲 Tel. 052-789-4239 office@scheduling.jp
30日	「鉄と鋼」第112巻2026年2月発刊 特集号「微生物腐食の解明と診断・抑止技術の構築」原稿募集締切(11号767頁)	日本鉄鋼協会	秋田大学 大学院理工学研究科 准教授 宮野泰征 Tel. 018-889-2354 y.miyano@gipc.akita-u.ac.jp
2025年7月			
2～4日	第62回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	学術振興部学術課 Tel. 03-5395-8081 happyokai@jrias.or.jp
3, 4日	第45回防錆防食技術発表大会(東京)	日本防錆技術協会	事務局 Tel. 03-3434-0451 jacc@jacc1.or.jp
2025年8月			
31日	「ISIJ International」2026年3月特集号「Metallurgy and Mechanics of Plasticity-Induced Damage Evolution and Fracture (塑性誘起損傷・破壊の金属学と力学)」原稿募集締切(本号55頁)	日本鉄鋼協会	東北大学 金属材料研究所 准教授 小山元道 Tel. 022-215-2061 motomichi.koyama.c5@tohoku.ac.jp
2026年4月			
30日	「ISIJ International」2026年11月 特集号「Innovative evaluation techniques for hydrogen entry and hydrogen trapping (水素侵入と水素捕捉に関する革新的評価技術)」原稿募集締切(本号55頁)	日本鉄鋼協会	北海道大学 大学院工学研究院 准教授 伏見公志 Tel. 011-706-6737 kfushimi@eng.hokudai.ac.jp

総 合

第189回 春季講演大会日本鉄鋼協会・日本金属学会合同懇親会のお知らせ

日本鉄鋼協会は創立110周年を迎えます。講演大会会場で創立110周年記念講演を聴講いただき、懇親会にも奮ってご参加ください。

1. 日時：2025年3月8日（土）18:30 ～ 20:30
2. 場所：LINK FOREST（〒206-0034東京都多摩市鶴牧3-5-3 TEL.042-307-7720）
<https://link-forest.jp/access/>
3. 交通：京王線（京王多摩センター駅中央口改札）、
小田急線（小田急多摩センター駅西口改札）より徒歩10分



4. 参加費：予約申込 一般 8,000円/同伴者^(*) 5,000円
当日申込 一般10,000円/同伴者^(*) 5,000円
* 配偶者を同伴する場合

5. 申込締切：予約申込 2025年2月13日（木）

⇒2月13日（木）の入金をもって、予約申込完了となります。

⇒名誉会員でご参加を希望される場合も予約申込登録をお願いします（無料でご招待させていただきます）。

当日申込 2025年3月8日（土）懇親会会場受付

⇒現金払いのみお受けいたします。

6. その他：本会ホームページ「イベント>講演大会>併催行事案内>懇親会」をご確認下さい。

<https://www.isij.or.jp/meeting/2025spring/social-meeting.html#sec01>

問合せ先：（一社）日本鉄鋼協会 総務グループ

TEL: 03-3669-5931 E-mail: admion@isij.or.jp

「ISIJ International」2026年3月 特集号「Metallurgy and Mechanics of Plasticity-Induced Damage Evolution and Fracture（塑性誘起損傷・破壊の金属学と力学）」原稿募集のご案内（投稿期限：2025年8月31日）

高強度と高延性を兼備する鉄鋼材料の重要度は昔から今現在まで変わらず、さらなる高性能化が求められている。塑性加工限界や構造強度を見積もるためには、まず降伏および引張強度を理解することが重要であるが、その極限状態における現象の理解を深化させるためには塑性変形後の破壊現象、すなわち延性破壊の学理を構築する必要がある。また実用的な観点では、降伏強度よりも低い応力で破壊を誘起しうる、金属疲労や水素脆化が重要視される。いずれの現象においても、破壊における格子欠陥蓄積および運動に由来する塑性の役割を理解することが本質である。近年では、様々な観察手法や計算手法の発達により、破壊における格子欠陥の役割が解明されつつあることに加えて、これまで破壊に関する研究の主軸であった破壊力学と組み合わせることで、塑性誘起破壊に関する設計・評価につながる学理が構築されてきている。

本特集号では、鉄鋼材料における塑性由来の応力・損傷発達、延性破壊、金属疲労ならびに水素脆化を対象とし、これまで研究会およびフォーラムにて活動してきた金属材料の塑性誘起破壊の研究成果を中心に、基礎研究から応用研究まで幅広い研究成果を募集する。

1. **スコープ**：鉄鋼材料の塑性加工限界や延性破壊、金属疲労ならびに延性破壊を理解するために、塑性に関連する応力発達、損傷発達、破壊に関連する研究やレビューを幅広く取り上げる。

2. **投稿締切**：2025年8月31日（日）必着

（締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受付けます）

3. **発刊予定**：「ISIJ International」2026年3月30日発刊

4. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、「ISIJ International」ジャーナルWebサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。

<https://isijint.net/jp/guide-to-authors/>

審査は通常の審査方法に準拠します。

5. **企画世話人・問合せ先**：小山元道 東北大学 金属材料研究所 准教授

TEL:022-215-2061, E-mail: motomichi.koyama.c5@tohoku.ac.jp

6. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。

<http://mc.manuscriptcentral.com/isijint>

電子投稿の操作に関し、ご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。

（Tel. 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp）

「ISIJ International」2026年11月特集号「Innovative evaluation techniques for hydrogen entry and hydrogen trapping（水素侵入と水素捕捉に関する革新的評価技術）」原稿募集のご案内（投稿期限：2026年4月30日）

各種環境において環境との相互作用（大気腐食など）により鉄鋼をはじめとする金属材料中へ侵入する水素による脆化・遅れ破壊現象を軽減するため、水素脆化しにくい微細構造を持つ鉄鋼材料開発と並行して鉄鋼材料水素侵入反応の機構解明に関する研究が盛んに行われている。課題が解決される一方、未解決の検討課題も多い。その中の代表的な課題として、(1) 水素脆化試験のための水素導入法について規格化や標準化、(2) 水素脆化起点の特定に繋がるような水素侵入分布評価法の整備が挙げられている。これらの解決には、腐食や電気化学反応により材料中への侵入および材料中に捕捉される水素の量と分布の把握が重要な解析要素となっている。また、実用鉄鋼材料での水素侵入・捕捉現象に適用して侵入水素量が臨界水素捕捉量を超えて水素脆化現象が起こることを検証すること、さらに従来の関連知見を総括して水素侵入・捕捉現象を数理化して、シミュレーションを可能にすることなどが求められている。実際の材料の使用条件に即した、適切な水素脆化試験条件を正しく選定・利用可能にするため、腐食や電気化学反応に伴い材料中へ侵入する水素および／あるいは材料中に捕捉される水素についてその量とともに速度や位置の分布の詳細な把握を可能にす

る水素侵入・捕捉評価技術の構築が検討されている。

本特集号では、高強度鋼をはじめ様々な金属材料における水素侵入と水素捕捉に関する評価技術とそれに基づく反応機構解析に関する研究分野でのアクティビティを強化することを目的に、上記に関する最新の研究やレビュー論文等を幅広く募集する。

なお一般公募論文に加えて、本特集号では、日本鉄鋼協会第188回秋季講演大会の国際セッション「The International Conference on Innovative evaluation techniques for hydrogen entry and hydrogen trapping -IV」(2024年9月18日大阪大学豊中キャンパスで開催) で発表された優れた論文についても、投稿を勧誘する。

- 1. **スコープ**：主に実用鉄鋼材料の（1）水素脆化試験法のための水素導入法についての規格化や標準化と（2）水素脆化起点の特定に繋がるような水素侵入分布評価法の整備に関わる最新の研究やレビューを取り上げる。したがってこれらに関連する、腐食や電気化学反応、水素侵入・水素捕捉・水素脆化、数理化・シミュレーションなども含む。
- 2. **投稿締切**：2026年4月30日（木）必着
(締切日を過ぎて投稿された原稿は通常の投稿原稿として受け付けます)
- 3. **発刊予定**：「ISIJ International」2026年11月30日発刊
- 4. **投稿規定、審査方法**：投稿規定は、「ISIJ International」ジャーナルWebサイト掲載の投稿規程、執筆要領をご参照ください。
<https://isijint.net/jp/guide-to-authors/>
審査は通常の審査方法に準拠します。
- 5. **企画世話人・問合せ先**：伏見公志 北海道大学 大学院工学研究院 准教授
TEL. 011-706-6737、E-mail: kfushimi@eng.hokudai.ac.jp
- 6. **原稿送付先**：下記サイトの電子投稿画面からご投稿ください。
<http://mc.manuscriptcentral.com/isijint>
電子投稿の操作に関し、ご不明の点は、本会編集グループにご連絡ください。
(Tel. 03-3669-5933 E-mail: editol@isij.or.jp)

2025年日本鉄鋼協会「鉄と鋼」発行予定

2024年12月現在、2025年の「鉄と鋼」の発行予定は、下表のとおりです。
なお、特集号は予告なく、発行が取り消される場合があります。

2025年（第111巻）

号数	テーマ	電子版 発行日	冊子版 お届け予定日
No.1	通常号	1月1日	2月1日
No.2	通常号	2月1日	(合併印刷)
No.3	特集号「溶鋼の凝固過程における非金属介在物の生成・成長・変性機構の解明を目指す最新研究」	2月15日	3月1日
No.4	通常号	3月1日	4月1日
No.5	通常号	4月1日	(合併印刷)
No.6	特集号「溶融めっき皮膜の機能創出に向けた構造制御の基礎と応用技術」	4月15日	5月1日
No.7	通常号	5月1日	6月1日
No.8	通常号	6月1日	(合併印刷)
No.9	「鉄と鋼」創刊110周年記念特集号「若手研究者の鉄鋼研究への挑戦」	6月15日	7月1日
No.10	通常号	7月1日	8月1日
No.11	通常号	8月1日	(合併印刷)
No.12	特集号「高炉鉄原料の組織と品質」	8月15日	9月1日
No.13	通常号	9月1日	10月1日
No.14	通常号	10月1日	(合併印刷)
No.15	特集号「CO ₂ 排出量の削減を目指した鉄鋼CCU技術」	10月15日	11月1日
No.16	通常号	11月1日	12月1日
No.17	通常号	12月1日	(合併印刷)
No.18	特集号「摩擦接合を含む革新的な固相接合技術」	12月15日	2026年 1月1日

電子版は以下のURLより無料で閲覧できます。
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tetsutohagane/list/-char/ja>

冊子版単冊定価

通常号（二号合併印刷）：4,400円（税込）、特集号：2,200円（税込）

冊子版年間購読料

会員：2,750円（税込）、一般：26,400円（税込）

問合せ先：（一社）日本鉄鋼協会 編集グループ
TEL: 03-3669-5933 E-mail: tetsutohagane@isij.or.jp

イベント情報

鉄の技術と歴史研究フォーラム 第44回フォーラム講演会 幕末・明治期の鉄研究会 第4回講演会「わが国の近代化初期における鉄社会の構造変化」開催案内

フォーラム座長 平井 昭司

第44回フォーラム講演会は、本フォーラムに設置された「幕末・明治期の鉄研究会」の3か年の研究成果に基づいた講演会で、ハイブリッド〔会場及びオンライン配信（Zoom利用）併用〕にて開催いたします。

研究会では、わが国の近代化初期における鉄社会の構造変化、すなわち、和鉄から洋鉄への鉄鋼近代化における初期過程について、どのような変化があったかを各地の現地調査を行い変化の解明研究を行いました。その研究成果をまとめたのが本講演会です。

官営の洋式製鉄導入失敗後の自立生産への、釜石田中製鉄所、中小坂鉄山や和賀仙人鉄山の生産増強への技術協力と、乏しい国内原料活用に群小鉱山を集積活用する中央製鉄所計画をした東京帝国大学工科大学卒業論文を調査しました。和鉄から洋鉄利用への民需の移行が的確、効率的に進んだのは和鉄の鉄鑑別力と鍛冶屋の加工利用力、問屋の広範流通網があったことによる範例解析と、多量の良質鉄鋼を必要とした軍需の具体内容を調査研究しました。

以上調査した内容を本フォーラム講演会でご報告します。

1. 日時：2025年（令和7年）1月25日（土）10:00～17:30
2. 方式：ハイブリッド〔会場及びオンライン配信（Zoom利用）併用〕
3. 会場：東京科学大学 大岡山キャンパス 大岡山西4号館W2-401講義室（〒152-8550 目黒区大岡山2-12-1）
4. 交通：東急大井町線または目黒線 大岡山駅下車 徒歩1分（会場まで約5分）
5. 主催：（一社）日本鉄鋼協会 鉄鋼プレゼンス研究調査委員会 鉄の技術と歴史研究フォーラム
6. 協賛：日本民具学会、日本鉱業史研究会、産業遺産学会鉱山金属分科会、製鉄遺跡研究会、トキ・タカ基金
7. 講演プログラム（各講演には5分間の質疑時間が含まれます。）

10:00～10:10	開会挨拶	フォーラム座長 平井昭司
10:10～10:30	1) 幕末・明治期の鉄研究活動報告	幕末・明治期の鉄研究会 主査 稲角忠弘（元新日鉄）
10:30～11:00	2) 和鉄から洋鉄、そして古鉄へ	香月節子（日本民具学会会員）
11:00～11:30	3) 幕末、明治期に於ける軍需から見た鉄需要	寺西英之（軍事史学会会員）
11:30～11:45	4) 幕末・明治期初期の鉄需要・消費構造変化	稲角忠弘（元新日鉄）
11:45～12:45	昼 食 休 憩	
12:45～13:15	5) 中小坂鉄山 ―洋式高炉・鍊鉄の先駆的取り組み―	原田喬（中小坂鉄山研究会）、稲角忠弘（元新日鉄）、天辰正義（元JFEテクノリサーチ）
13:15～13:45	6) 和賀仙人鉄山 ―赤鉄鉱石使用の高炉事業の確立―	金沢良（フォーラム会員）、天辰正義（元JFEテクノリサーチ）、稲角忠弘（元新日鉄）
13:45～14:15	7) 栗木鉄山 ―和式高炉の設備、操業の実態―	稲角忠弘（元新日鉄）
14:15～14:45	8) 釜石田中製鉄所 ―官営失敗後の高炉復活と事業確立―	天辰正義（元JFEテクノリサーチ）、稲角忠弘（元新日鉄）
14:15～15:00	休 憩	
15:00～15:30	9) 幕末・明治期の高炉技術	天辰正義（元JFEテクノリサーチ）
15:30～16:00	10) 国内原料の最調査と鉱石利用工夫の焙焼技術	渡邊玄（東京科学大）、砂原公平（日本製鉄）、稲角忠弘（元新日鉄）、天辰正義（元JFEテクノリサーチ）、原田喬（中小坂鉄山研究会）
16:00～16:30	11) 中央製鉄所構想 ―乏しい原料活用の製鉄所構想―	天辰正義（元JFEテクノリサーチ）、稲角忠弘（元新日鉄）
16:30～16:45	12) 明治初期の鉄鋼生産体制 ―鍊鉄失敗による製鉄と製鋼の分離―	稲角忠弘（元新日鉄）
16:45～17:25	パネルディスカッション	司会 穴澤義功（考古学会員）、稲角忠弘（元新日鉄） パネラー：日野光元（東北大名名誉教授）、中江秀雄（早稲田大名名誉教授）、福島勲（元日本鋼管）、

角田徳幸（雲南市教育委員会）、鳥谷智文（松江高専）、佐藤興平（気象大）、
清田馨（東京大）＋講演者

17:25 ～ 17:30 閉会挨拶 フォーラム幹事 古主泰子

8. 参加費：2,000円（消費税込み）
会場参加の方およびオンライン参加の方は、12月23日（月）～1月15日（水）までの間に参加費を以下の口座にお振込みください。

郵便振替（郵便局備え付けの払込取扱票をご使用下さい。手数料はご本人様負担をお願いします。）
郵便振替 口座 00170-4-193
加入者名 シャ）ニホンテッコウキョウカイ

* 他金融機関からお振込される場合は下記コードをご使用下さい *
銀行名（銀行コード）：ゆうちょ銀行（9900）
支店名（支店コード）：019店（019）
預金種目：当座
口座番号：0000193
口座名義：シャ）ニホンテッコウキョウカイ

- 9. 参加申し込み期日：**1月15日（水）17：00までに必ず、E-mailで申し込むこと（厳守）
※参加費の振り込みとは別に、参加申し込みをしてください。
- 10. 参加申し込み記載事項：**①氏名、②所属、③郵便番号・住所、④E-mailアドレス、⑤電話番号、⑥会場での参加希望の有無
※申し込みのE-mailには、必ず正確に①～⑥のすべての項目をご記入してください。
※申し込みをされた方には、開催の数日前頃までにオンライン用のURLまたは会場での参加の許可をご連絡します（会場希望が多い場合は、人数を調整させていただきます）。
また、オンラインでご参加の場合、Zoomにおける参加者名を“参加申込時の氏名”にしてご参加ください。
※第44回フォーラム講演会論文集は、申し込まれた住所に事前に発送いたします。
- 11. 参加申し込み先：**フォーラム幹事：古主泰子、E-mail dzs03530@nifty.com

ブックレビュー

基礎から学ぶ機械材料学
内田 仁 著
アグネ技術センター2024年1月発行 A5版・並製 282頁 3,080円(税込み)
Tel. 03-3409-5329 ISBN 978-4-86707-014-7 C3053

本書では、材料学への興味を持たない学生を憂慮した機械工学の先生が、材料科学的な観点から多岐にわたる材料の構造や諸特性を支配する共通的な基本原理を平易に述べるとともに、材料学の初学生が材料の構造や諸特性およびそれらの評価法などを基礎から系統的に理解できるよう、内容を厳選して書かれている。第I編では、原子と結晶構造、転位と結晶塑性、拡散、熱力学と相変化、平衡状態図、機械的性質と材料試験、強化機構、破壊と、材料研究者・技術者にとっては一丁目一番地の材料基礎学が、きれいでわかりやすい図表と共にていねいに説明されている。第II編では、炭素鋼・合金鋼・鋳鋼等の鉄鋼材料、アルミニウム・マグネシウム・銅・チタンおよびそれらの合金等の非鉄金属材料、セラミックス、ガラス、プラスチック、ゴム、

接着剤、さらには複合材料、機能材料と、多彩な機械材料がバランスよく紹介されている。そして、各章末には内容をより深く理解するための良質な演習問題と解答まで記されている。
本書は、機械工学はもとより、「材料工学」を学び始めた大学生・高専生や、材料学の基本を学ぶ重要性を再認識した技術者が、材料学の全容を容易に身につけられる最良の教科書である。また、これらの初学者に材料学を教えようとする先生・上司・先輩が、教科書や参考書として使用するのにもうってつけである。
著者の言葉を借りれば、『材料を制するものは技術を制する』のである。材料工学を極めようとする者は、是非とも本書の内容を体の一部にして、明日の「技術立国」日本を支えてもらいたい。
(物質・材料研究機構 マテリアル基盤研究センター 戸田佳明)

次号目次案内

* 定期刊行物の掲載記事及び題目は変更になる場合があります。

ふらむ Vol.30 (2025) No.2 掲載記事

Techno Scope

キャンプ用品で活躍するチタン材料

連携記事

アウトドア分野でのチタン採用とカーボンニュートラル実現に向けた取組み

..... 馬場善都(日本製鉄)

入門講座

金属の非鉄製錬-9

シリコン

..... 安田幸司(京都大学)

躍動

多孔質炭素材料(コークス)の高温強度を測ってみよう

..... 齋藤泰洋(九州工業大学)

私の論文

溶鋼中トランプエレメントの熱力学データの測定とスラグ/メタル反応の解析

..... 小野英樹(富山大学)

わたしたちのけんきゅうしつ

持続可能な未来へ：環境と調和する材料科学の最前線

..... 山田真子(大阪大学)

鉄鋼の新時代に挑む！柏の森から

..... 龔 爽(東京大学)

アラカルト

冷間圧延後の洗浄ラインに使用するゴムロール長期安定使用の提案

..... 末藤純平、他(ミカサ)

論文誌「鉄と鋼」「ISIJ International」の次号目次について

論文受理から掲載までの期間短縮により、2024年1号より次号目次は掲載しておりません。

各号の掲載論文はJ-STAGEでご覧いただけますようお願いいたします。

鉄と鋼：https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tetsutohagane/-char/ja/

ISIJ International：https://www.jstage.jst.go.jp/browse/isijinternational/-char/ja

会 員 欄

新規入会

阿河 航平
赤嶺 章太郎
浅井 良介
荒谷 誠
飯尾 秀一郎

石井 孝治
石川 達裕
伊藤 桂一
今村 真波
岩崎 真和
岩田 将英
内田 悠翠
梅宮 弘樹
江西 彬
大島 夏乃

大竹 進之介
大村 一樹
岡 弘
岡崎 敏宏
荻谷 賢英
尾崎 政徳
尾野 慎太郎
川口 正隆
川本 玲央
北中 洸介

桐山 大輝
小林 純一
古林 雅登
近藤 勝哉
佐伯 拓朗
佐藤 広志
志田 貴文
志摩 会実佳
白鳥 英
菅谷 恭兵

鈴木 直堯
砂山 航輝
高橋 清一
田中 竜二
谷村 智
田村 翼
辻 拓志
寺井 勇人
寺辻 和陸
中井 裕介

永吉 慶祐
西出 創
橋本 晃
畠山 翔太郎
福井 浩毅
藤井 晃汰
藤田 右京
藤原 功多
前河 智之
町田 佳美

丸山 嘉大
村上 晶子
森 景統
森 裕之
山田 健太
山田 真史
横山 名奈子
吉村 悠